日本BS放送株式会社

2025年8月期 第2四半期決算説明会

2025年4月24日

証券コード：9414

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ	当社事業について	P3
Ⅱ	2025年8月期　第2四半期業績	P6
Ⅲ	2025年8月期　計画（連結・個別）	P14
Ⅳ	重点施策・主な取組み	P17
Ⅴ	株主還元	P29

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

Ⅰ	当社事業について	P3
Ⅱ	2025年8月期　第2四半期業績	P6
Ⅲ	2025年8月期　計画（連結・個別）	P14
Ⅳ	重点施策・主な取組み	P17
Ⅴ	株主還元	P29

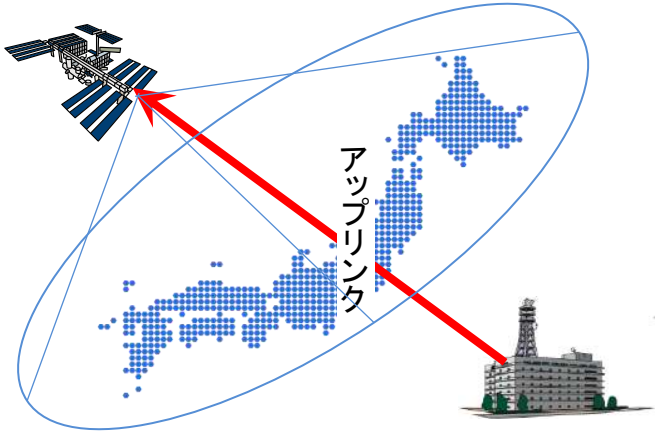
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS放送事業について

BS11 日本BS放送

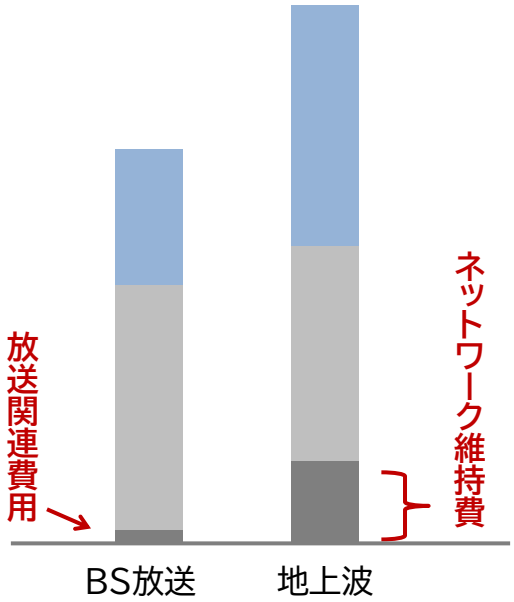
地上波放送とコスト構造が異なり、全国一波、低コストで放送可能

無料BS放送

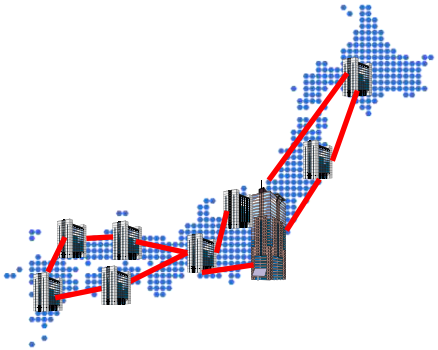


・日本全国に電波の送信が可能
・ネットワークの構築が不要

コスト構造の比較



キー局系列の地上波放送



・少数チャンネル地域の存在
・嵩むネットワーク維持費

世帯普及率
77.1%

全国放送

専念視聴

低コスト放送

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS放送事業について

BS11 日本BS放送

ビックカメラグループに所属、視聴者との直接的な接点を活用

全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	BS松竹東急	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月		2022年3月		2011年11月

地上波系列と当社にて、“無料BS放送６局”として視聴状況調査を実施、
共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。

BS11 日本BS放送

視聴者（お客様）との直接的なタッチポイント

コジマ
「郊外」を中心に地域密着の店舗を展開

BIC CAMERA ビックカメラ
「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の店舗を展開

ソフマップ
デジタル家電を中心とした買取、
リユース、サービス・サポート事業を展開

など

ビックカメラグループ
グループ店舗数270店舗（2024年8月31日時点）

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ　当社事業について　P3

Ⅱ　2025年８月期　第２四半期業績　P6

Ⅲ　2025年８月期　計画（連結・個別）　P14

Ⅳ　重点施策・主な取組み　P17

Ⅴ　株主還元　P29

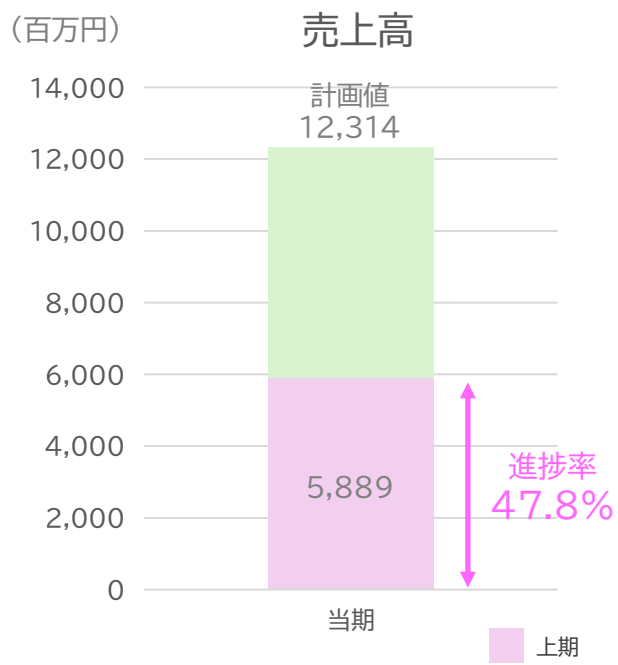
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

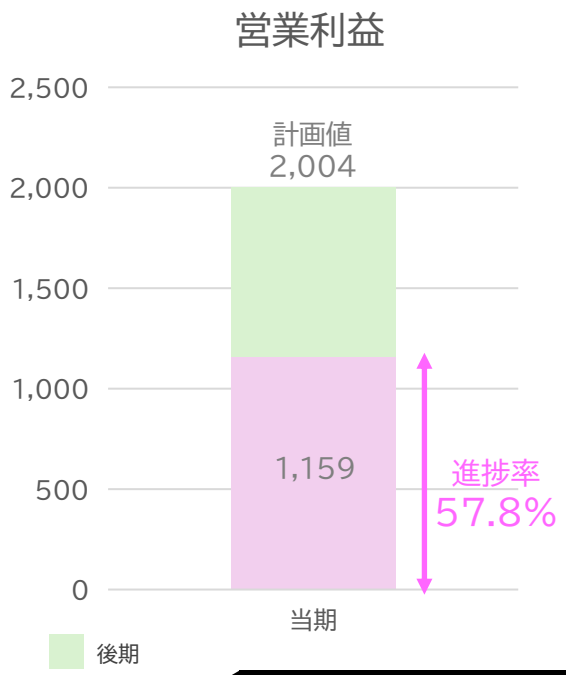
BS11日本BS放送

2025年8月期　第2四半期（連結）

売上高	5,889百万円（前年同期比 0.8%減↓）
営業利益	1,159百万円（前年同期比 25.0%増↑）

➢通期計画に対する進捗率





© Nippon BS Broadcasting Corporation.

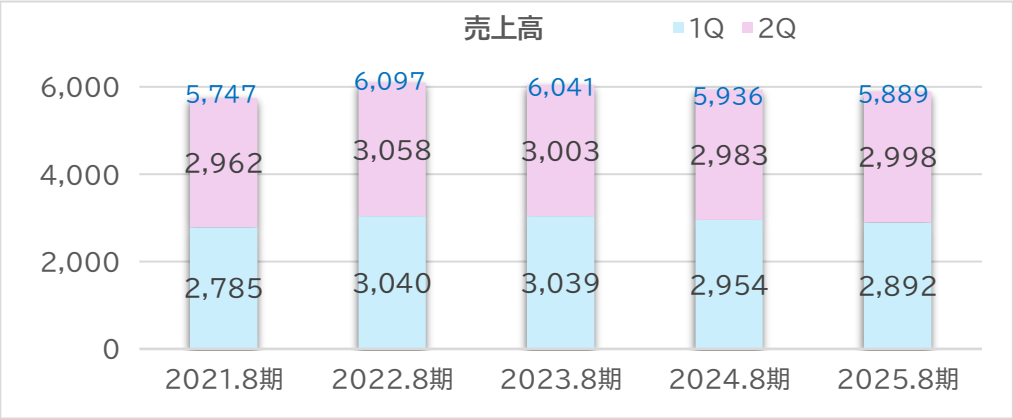
損益計算書の概要（連結）

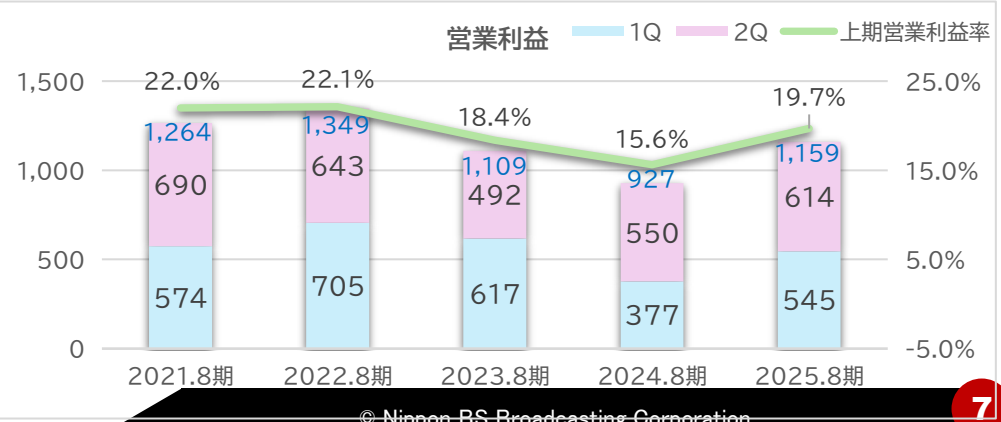
BS11 日本BS放送

✓（連結）売上高 前年比△0.8%、営業利益＋25.0%

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な増減要因（前年同期比）
売上高	5,936 (100.0%)	5,889 (100.0%)	△0.8%	△46	5,906 (100.0%)	△0.3%	△16	（売上高） ・放送事業収入・・・ △53百万円 ・その他収入 ・・・ +38百万円 ・その他収入（子会社） ・・・△31百万円 （売上原価） ・番組制作費・・・△190百万円 ・減価償却費・・・ △66百万円 （販管費） ・広告宣伝費・・・ △80百万円
売上総利益	2,768 (46.6%)	2,947 (50.0%)	6.5%	179	2,787 (47.2%)	5.8%	160	
営業利益	927 (15.6%)	1,159 (19.7%)	25.0%	231	957 (16.2%)	21.1%	202	
経常利益	930 (15.7%)	1,174 (19.9%)	26.2%	243	970 (16.4%)	21.1%	204	
親会社株主に帰属する中間純利益	642 (10.8%)	801 (13.6%)	24.9%	159	660 (11.2%)	21.5%	141	





© Nippon BS Broadcasting Corporation.

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

BS11日本BS放送

貸借対照表

（単位：百万円、下段は構成比）

	2024年8月期末	2025年8月期 第2四半期末	2025年8月期 前年増減額
流動資産	17,041 (65.8%)	16,294 (63.0%)	△747
固定資産	8,852 (34.2%)	9,550 (37.0%)	697
資産合計	25,894 (100.0%)	25,845 (100.0%)	△49
流動負債	2,166 (8.4%)	1,832 (7.1%)	△334
固定負債	128 (0.5%)	129 (0.6%)	1
負債合計	2,295 (8.9%)	1,962 (7.7%)	△332
純資産合計	23,598 (91.1%)	23,882 (92.3%)	283
負債・純資産合計	25,894 (100.0%)	25,845 (100.0%)	△49

キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	1,184	993
税金等調整前中間純利益	930	1,174
減価償却費	300	235
売上債権の増減額(△は増加)	369	325
棚卸資産の増減額（△は増加）	△100	△58
仕入債務の増減額(△は減少)	22	△71
未払金の増減額(△は減少)	△237	△84
未払消費税等の増減額（△は減少）	96	△145
法人税等の支払額	△234	△346
投資キャッシュ・フロー	△9	△2,006
定期預金の預入による支出	–	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△5	△6
投資有価証券の取得による支出	–	△995
財務キャッシュ・フロー	△463	△535
配当金の支払額	△462	△534
現金及び現金同等物の増減額	711	△1,547
現金及び現金同等物の期首残高	13,599	6,152
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,310	4,604

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

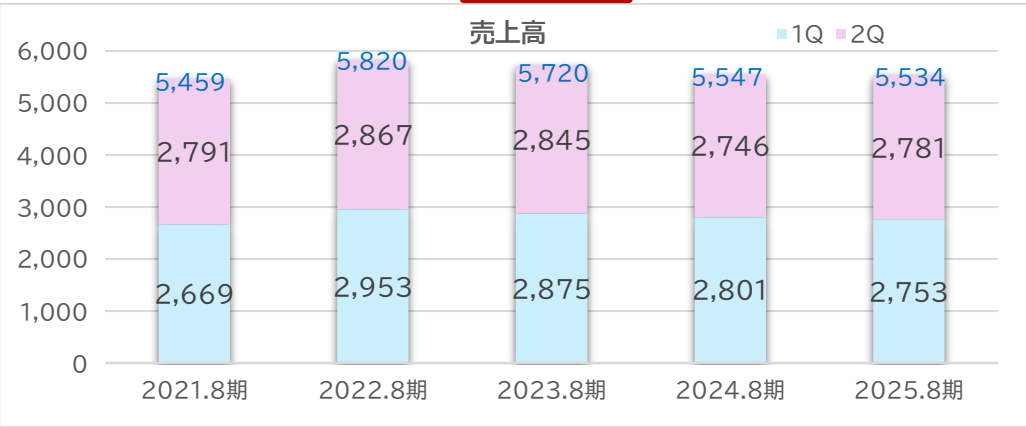
損益計算書の概要（個別）

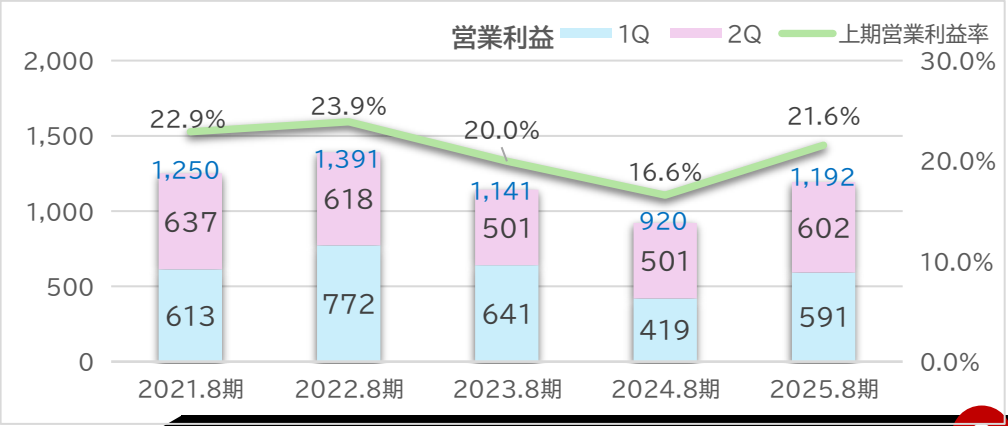
BS11 日本BS放送

✓その他収入の増加、番組制作費とスタジオ設備償却費の減少 ➡ 営業利益が＋29.6%

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（前年同期比）
売上高	5,547 (100.0%)	5,534 (100.%)	△0.2%	△13	5,646 (100.0%)	△2.0%	△111	・スポット収入の減少・・・△54百万円 ・その他収入の増加 ・・・ +40百万円
売上総利益	2,577 (46.5%)	2,799 (50.6%)	8.6%	221	2,689 (47.6%)	4.1%	109	（段階利益） 売上原価の減少
営業利益	920 (16.6%)	1,192 (21.6%)	29.6%	272	992 (17.6%)	20.2%	200	≪利益増加の具体的要因≫ ・前年同期に放送した番組にかかる費用の反動減 ・放送月の変更による番組予算等の下期への月ズレ
経常利益	924 (16.7%)	1,208 (21.8%)	30.8%	284	1,006 (17.8%)	20.1%	202	・2022年10月～2023年3月にかけて実施したスタジオ設備更新に伴う償却負担の軽減
四半期純利益	638 (11.5%)	836 (15.1%)	31.0%	198	697 (12.3%)	19.9%	138	





© Nippon BS Broadcasting Corporation.

売上区分別実績（個別）

BS11日本BS放送

スポット収入に回復の兆し、配信事業・アニメ出資配当が好調 ➡ 売上高△0.2%

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期 第2四半期累計				（単位：百万円、下段は構成比）
		実績	前年同期比	計画	計画比	
売上高	5,547 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	5,646 (100.0%)	△2.0%	
タイム収入	4,009 (72.3%)	4,010 (72.5%)	0.0%	4,165 (73.8%)	△3.7%	
スポット収入	1,164 (21.0%)	1,109 (20.1%)	△4.7%	1,048 (18.5%)	5.9%	
その他	373 (6.7%)	413 (7.5%)	10.9%	432 (7.7%)	△4.3%	

主な増減要因（前年対比）

- **タイム収入**
  前期放送の大型スポーツ特番の反動減が見られたものの、競馬中継等の公営競技が好調となったほか、引き続きショッピングが堅調に推移し、前年同期比+0.0%

- **スポット収入**
  新規取引先の獲得等に注力したことで、回復の兆しが見られるも、前年同期比△4.7%

- **その他**
  配信事業収入、アニメ製作委員会からの出資配当収入が好調となり、前年同期比+10.9%

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

主要費用項目実績（個別）

BS11日本BS放送

✓放送番組の変更と下期への月ズレ ➡ 番組関連費用△8.1%、コスト効率の追求 ➡ 広告関連費用△19.4%

	2024年8月期 第2四半期累計	2025年8月期　第2四半期累計				（単位：百万円、下段は売上比）
		実績	前年同期比	前年増減額	主要な増減要因	
番組関連費用（原価）	1,830 (33.0%)	1,682 (30.4%)	△8.1%	△148		
番組購入費	151 (2.7%)	194 (3.5%)	27.8%	42	視聴者ニーズを追求したドラマコンテンツの調達	
番組制作費	1,678 (30.3%)	1,487 (26.9%)	△11.4%	△190	前年同期放送の番組にかかる費用の反動減 放送月変更による下期への費用の月ズレ	
放送関連費用（原価）	276 (5.0%)	274 (5.0%)	△0.7%	△1		
放送委託費	254 (4.6%)	243 (4.4%)	△4.1%	△10		
技術費	22 (0.4%)	31 (0.6%)	38.1%	8		
広告関連費用（販管費）	406 (7.3%)	327 (5.9%)	△19.4%	△79		
広告宣伝費	380 (6.9%)	301 (5.5%)	△20.8%	△79	コスト効率を意識した広告宣伝施策の実施	
販売促進費	26 (0.5%)	26 (0.5%)	–%	–		

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

貸借対照表の概要（個別）

BS11日本BS放送

（単位：百万円、下段は構成比）

	2024年8月期末	2025年8月期第2四半期末		
		第2四半期	前年増減額	主な増減要因
流動資産	16,553 (65.1%)	15,956 (62.5%)	△596	現金及び現金同等物の減少　△534百万円 売掛金の減少　△181百万円 有価証券の増加　+99百万円
固定資産	8,858 (34.9%)	9,556 (37.5%)	697	投資有価証券の増加　+896百万円
資産合計	25,412 (100.0%)	25,513 (100.0%)	101	
流動負債	1,815 (7.1%)	1,596 (6.3%)	△218	未払消費税の減少　△132百万円
固定負債	125 (0.5%)	127 (0.5%)	2	
負債合計	1,941 (7.6%)	1,724 (6.8%)	△216	
純資産合計	23,471 (92.4%)	23,788 (93.2%)	317	税引後中間純利益　+301百万円
負債・純資産合計	25,412 (100.0%)	25,513 (100.0%)	101	

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ　当社事業について　P3

Ⅱ　2025年８月期　第２四半期業績　P6

Ⅲ　2025年８月期　計画（連結・個別）　P14

Ⅳ　重点施策・主な取組み　P17

Ⅴ　株主還元　P29

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期 通期計画（連結）

BS11日本BS放送

売上高は12,314百万円(前期比0.6%増)、営業利益は2,004百万円(前期比3.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,407百万円(前期比3.3%減)を計画

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,936 (100.0%)	12,241 (100.0%)	5,889 (100.0%)	△0.8%	12,314 (100.0%)	0.6%	73
営業利益	927 (15.6%)	2,083 (17.0%)	1,159 (19.7%)	25.0%	2,004 (16.3%)	△3.8%	△79
経常利益	930 (15.7%)	2,097 (17.1%)	1,174 (19.9%)	26.2%	2,032 (16.5%)	△3.1%	△65
親会社株主に帰属する当期純利益	642 (10.8%)	1,455 (11.9%)	801 (13.6%)	24.9%	1,407 (11.4%)	△3.3%	△48

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期 通期計画（個別）

BS11日本BS放送

売上高は11,600百万円（前期比2.1%増）、営業利益は2,000百万円(前期比2.8%減)、当期純利益は1,406百万円を計画（前期比1.8%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2024年8月期		2025年8月期				
	第2四半期累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,547 (100.0%)	11,357 (100.0%)	5,534 (100.0%)	△0.2%	11,600 (100.0%)	2.1%	243
タイム収入	4,009 (72.3%)	8,262 (72.7%)	4,010 (72.5%)	0.0%	8,518 (73.4%)	3.1%	256
スポット収入	1,164 (21.0%)	2,269 (20.0%)	1,109 (20.1%)	△4.7%	2,128 (18.3%)	△6.2%	△141
その他	373 (6.7%)	825 (7.3%)	413 (7.5%)	10.9%	953 (8.2%)	15.5%	128
営業利益	920 (16.6%)	2,057 (18.1%)	1,192 (21.6%)	29.6%	2,000 (17.2%)	△2.8%	△57
経常利益	924 (16.7%)	2,073 (18.3%)	1,208 (21.8%)	30.8%	2,029 (17.5%)	△2.1%	△44
当期純利益	638 (11.5%)	1,432 (12.6%)	836 (15.1%)	31.0%	1,406 (12.1%)	△1.8%	△26

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ　当社事業について　P3

Ⅱ　2025年8月期　第2四半期業績　P6

Ⅲ　2025年8月期　計画（連結・個別）　P14

Ⅳ　重点施策・主な取組み　P17

Ⅴ　株主還元　P29

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

重点施策を新たに「Value 4」と位置づけ推進

Ⅰ. コンテンツ価値の向上

独自性あるコンテンツの制作と調達・編成

Ⅱ.「稼ぐ力」の再構築

セールスメニュー開発の継続強化

Ⅲ. 放送周辺事業の強化と発展

成長分野への資源集中、多角的事業の推進

Ⅳ. 企業価値向上のための戦略的投資

新たな領域への投資機会の追求、コラボレーション施策の推進

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

VTR

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期 第2四半期 コンテンツ戦略

BS11日本BS放送

新たな歌謡番組を立ち上げ、多岐にわたる番組ジャンルを自社で制作・放送・配信

➢自社制作番組

BS視聴者層に人気のコンテンツジャンル

NEW

音楽

幅広いスポーツを編成

NEW

サッカー

お酒

紀行

ゴルフ

バイク

歴史

紀行

競馬

ソフトボール

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

独立放送局の強みを活かし、多様な特別番組と他局・地方自治体との連携により全国へ地域の魅力を発信

➢特別番組

多様なジャンルの特別番組を放送

音楽

競馬

バラエティ

報道

音楽

『TOKYO FM 少年合唱団 クリスマスコンサート2024
～ 天使の歌声降るクリスマス ～』

紀行

他局との共同制作も積極実施

地方自治体との番組の共同制作も実施

紀行

紀行

『おいでよ和歌山 梅の魅力を探す旅 -みなべ町・田辺市編-』

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期 第2四半期 コンテンツ戦略

BS11日本BS放送

✔ 視聴者・クライアントニーズに寄り添った強力なラインナップ、放送と配信で幅広く展開

➢2024年9月～2025年2月放送 ドラマコンテンツ等

中国時代劇

©2022 Tang Media Partners (China) Limited & Tang Media Pictures Shanghai Limited

© 2022 China Huace Global Media Co., Ltd. all rights reserved.

© CHIN EMPIRE

©Shenzhen Tencent Computer Systems Company Limited

韓国ドラマ

© TV Chosun 2022

©2022-23 MBC

Licensed by KBS Media Ltd. © 2021 HIGROUND. All rights reserved

©2023MBC

ヨーロッパミステリー

©Company A Chorion

© ITV Studios Limited 2012

© 2011 Shaftesbury Murdoch IV Inc.

© Mammoth Screen Limited 2021 All Rights Reserved. Licensed by ITV Studios Ltd.

その他コンテンツ

©2009安倍夜郎・小学館／「深夜食堂」製作委員会

© 2025 Warner Bros. Discovery, Inc. or its subsidiaries and affiliates. All rights reserved.

©デンナーシステムズ.

©JCOM.

放送したドラマコンテンツ等は、一部を除き、「TVer」や、オリジナル配信サイト「BS11＋」にて配信中

BS11日本BS放送

配信事業を成長エンジンと捉え、オリジナルおよび協業コンテンツを強化

➢各プラットフォームでの配信

©2022-23 MBC

レギュラー番組、特別番組、ドラマコンテンツ等々

BS11+ TVer YouTube U-NEXT VideoMarket FOD

- 「BS11＋」、Tver、公式Youtubeチャンネルにて見逃し配信
- 「BS11＋」の有料会員数は引き続き増加、アーカイブ配信やドラマ配信に注力
- TVer、Youtubeでの報道番組、ドラマコンテンツなどの再生数が売上を牽引

➢配信オリジナルコンテンツの制作

WEB配信ドラマ「東京水没!?」

東京メトロポリタンテレビジョン(株)との共同制作WEBドラマの第1弾。「東京創生」をテーマに企画を公募し、ドラマ化。

【協 力】東京都 / ドラマ監修:東京都水道局 【制作著作】BS11 / TOKYO MX

Tokyofm Life time audio 80.0

AuDee オーディー

×

TOKYO FMのデジタル音声サービス「AuDee(オーディー)」にて、『報道ライブ インサイドOUT』の音声配信を開始

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

放送、製作委員会への出資、イベント、物販など多方面に展開、売上の約1割を支える成長分野に

〈2025年1月～3月放送の出資作品の一部〉

©ゆでたまご／集英社・キン肉マン製作委員会

©2024 香坂マト/KADOKAWA/イフール労働組合

©天乃聖樹・KADOKAWA／クラ婚製作委員会

©空えぐみ・新潮社／「沖ツラ」製作委員会

毎クール約40タイトルのアニメ関連番組を放送

➡多くのアニメ作品製作委員会に参加、「アニメのBS11」として認知が拡大

➢アニメ関連番組の制作等

放送開始：2015年10月～

放送開始：2017年5月～

特番

©Animelo Summer Live 2024

「アニメロサマーライブ2024-Stargazer-powered by AnisonDay」

2005年に誕生し、今年19回目となった世界最大のアニソンライブイベント「アニサマ」の模様を<u>テレビ独占放送</u>。

イベント

アニメ&まんが聖地EXPO

2024年11月9日・10日に、豊島区・中池袋公園にて、アニソンイベント「スペシャルアニソンライブ Presented by BS11 ANIME＋」を2日間で計4ステージ実施。

➡アニメ関連番組を継続して自社制作。イベントやグッズ販売等、多角的なIP展開を実施。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期 第2四半期 イベント事業・通販・グループシナジー

BS11日本BS放送

✔グループシナジーを活かし、イベントや通販事業を強化、視聴者層に合わせた企画で新たな収益源を創出

➢イベント企画の展開

イベント実施後、特別番組として放送、見逃し配信も実施

➡社内でオリジナルイベントを企画・制作
➡番組から派生したイベントの実施や、イベントを見逃し配信、番組化など、多面的な展開が可能

➢通販事業の推進

通販サイト　BS11SHOP 産直通販

BS11 SHOP

番組関連グッズ等を販売

国土社「ようかいむら」
ミニタオル

太田和彦 描き下ろし
「日本居酒屋遺産 団扇」(赤垣屋)

➢ビックカメラグループとのシナジー

・売上施策の1つとして、実店舗で販売中の商品を
オリジナルショッピング番組内で販売

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

今後の施策

BS11日本BS放送

✔ 新番組や視聴者参加型キャンペーンを通じてコンテンツ価値を向上

Ⅰ. コンテンツ価値の向上

➢幅広い世代に向けたコンテンツの充実

NEW

『黒谷友香、お庭つくります』

NEW

女子バスケットボール Wリーグ専門情報番組

WE LOVE! Wリーグ

➢広告宣伝施策

毎月11日は BS11イレブンの日 キャンペーン

2025年1月より、11カ月連続企画として、『毎月11日は“BS11イレブンの日”キャンペーン』を実施中。抽選で、番組オリジナルビックカメラギフトカードをプレゼント。

Ⅱ. 「稼ぐ力」の再構築

➢ドラマコンテンツの強化

視聴者ニーズ、クライアントニーズに合わせて、強力なコンテンツをラインナップ

NEW

(C) HS Entertainment Group Incorporated

『テレサ・テン 歌姫を愛した人々』

NEW

©泉放送制作/東海テレビ

NEW

『次郎長三国志』

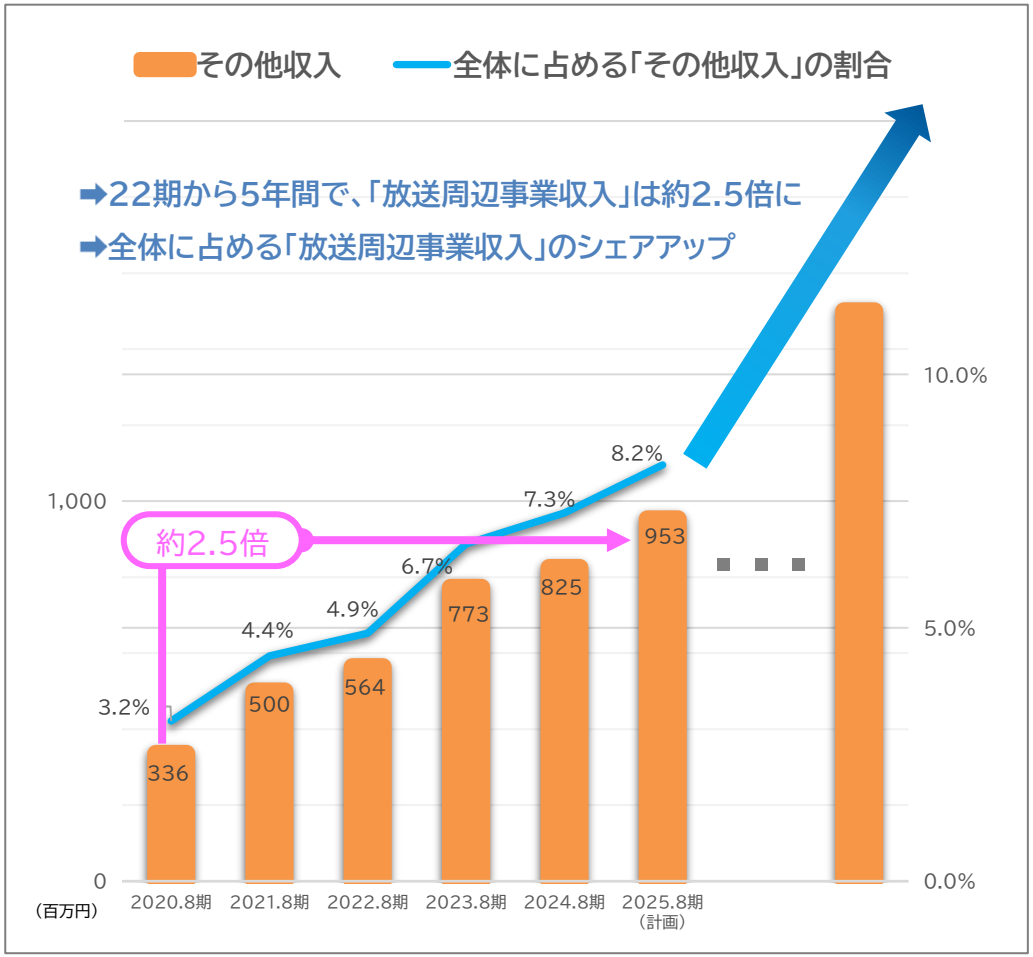
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

今後の施策

BS11 日本BS放送

「放送周辺事業」は、5年間で約2.5倍に成長、自社IPの活用とマルチ展開でさらに成長を加速

Ⅲ. 放送周辺事業の強化と発展



➢アニメ事業の発展、コンテンツのマルチ展開

AnimeJapan 2025
アニメのすべてが、ここにある。

会場:東京ビックサイト

日程:2025年3月22日(土)・23日(日)

世界最大のアニメイベント「AnimeJapan」に今年も出展。 新作アニメの豪華キャスト陣によるトークステージを実施。 昨年は約13万人が来場。

4月に高知県で開催される「高知アニクリ祭2025」にて、「Anison Days」のライブイベントを実施。

5月に東京・丸の内 COTTON CLUBにて、「AnisonDays OtoNight2025」を開催。

配信事業のさらなる発展のため、「BS11＋」配信限定コンテンツを多数制作。

アニメ事業の収益力をさらに拡大、番組コンテンツのマルチユース戦略により新たな成長基盤を確立

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

✔さらなる成長フェーズに向け、企業間コラボレーションを強化し、シナジー効果を最大化

Ⅳ.企業価値向上のための戦略的投資

➢他局とのコラボレーション企画

「桜前線2025 全国キャスターリレー！～自慢したい桜スポット～」
3月10日(月)～4月1日(火) 放送

毎年恒例の桜前線全国キャスターリレー。各局の人気番組の看板アナウンサー・リポーターが登場し、各地で見頃を迎える美しい桜を紹介。今回は全国17の放送局からお届けする。

(放送順)KTNテレビ長崎、TOSテレビ大分、eat愛媛朝日テレビ、中海テレビ放送、テレビ和歌山、奈良テレビ放送、三重テレビ放送、びわ湖放送、岐阜放送、石川テレビ放送、富山テレビ放送、UTYテレビ山梨、とちぎテレビ、さくらんぼテレビ、IBC岩手放送、RAB青森放送、UHB北海道文化放送

「京都夜桜生中継2025 桜と名宝を訪ねて」 3月26日(水) 放送
(株)京都放送と共に共同制作

➢各企業との協業事業

各企業とのコラボレーション事業を通じて、企業価値向上にむけた様々な取り組みを計画

© TV Chosun 2022
「韓流セレクション Supported by U-NEXT赤い風船～絡み合う糸～」

(株)U-NEXTとの協業

「TOKYO FM 少年合唱団 クリスマスコンサート2024
～ 天使の歌声降るクリスマス ～」

TOKYO FM「AuDee」にて、音声配信を開始

➢ビックカメラグループとのシナジー

ショッピング番組の制作や、店舗を活用した番宣等を実施。さらなるグループ内連携、シナジー効果の発揮に向けて様々な取組みを計画中。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

目次

Ⅰ　当社事業について　P3

Ⅱ　2025年8月期　第2四半期業績　P6

Ⅲ　2025年8月期　計画（連結・個別）　P14

Ⅳ　重点施策・主な取組み　P17

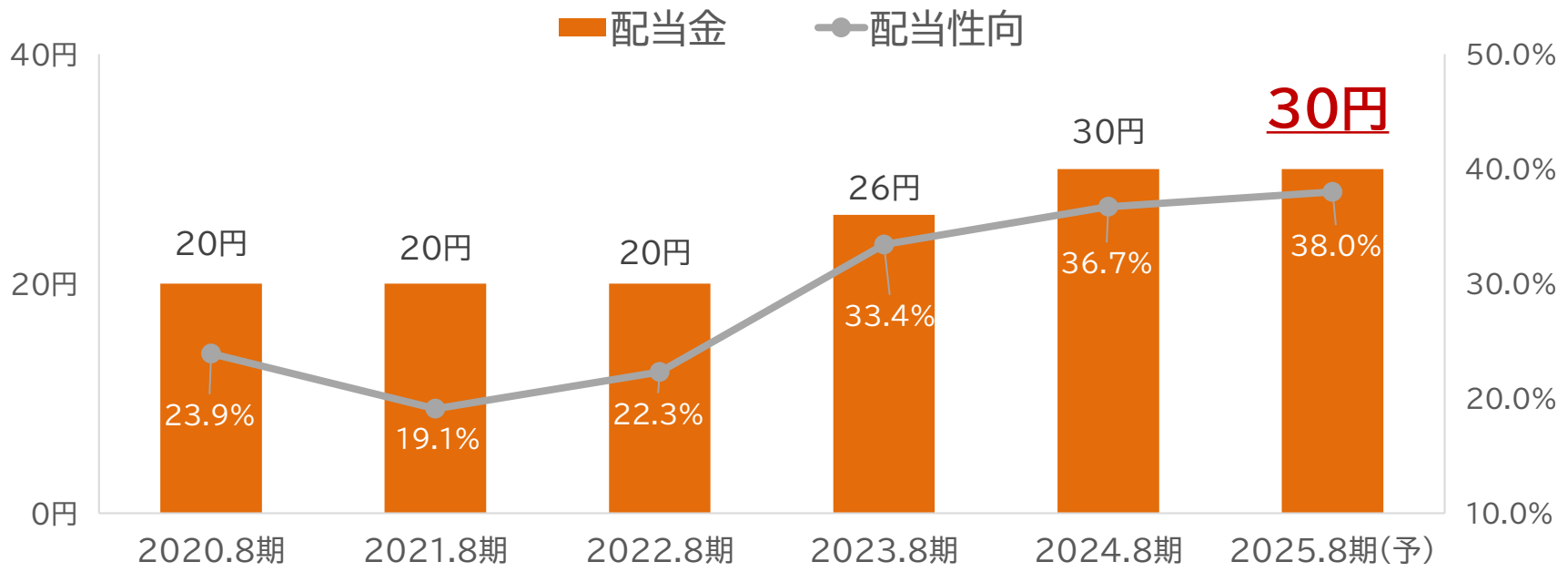
Ⅴ　株主還元　P29

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

2025年8月期は、期末配当金 30円を計画

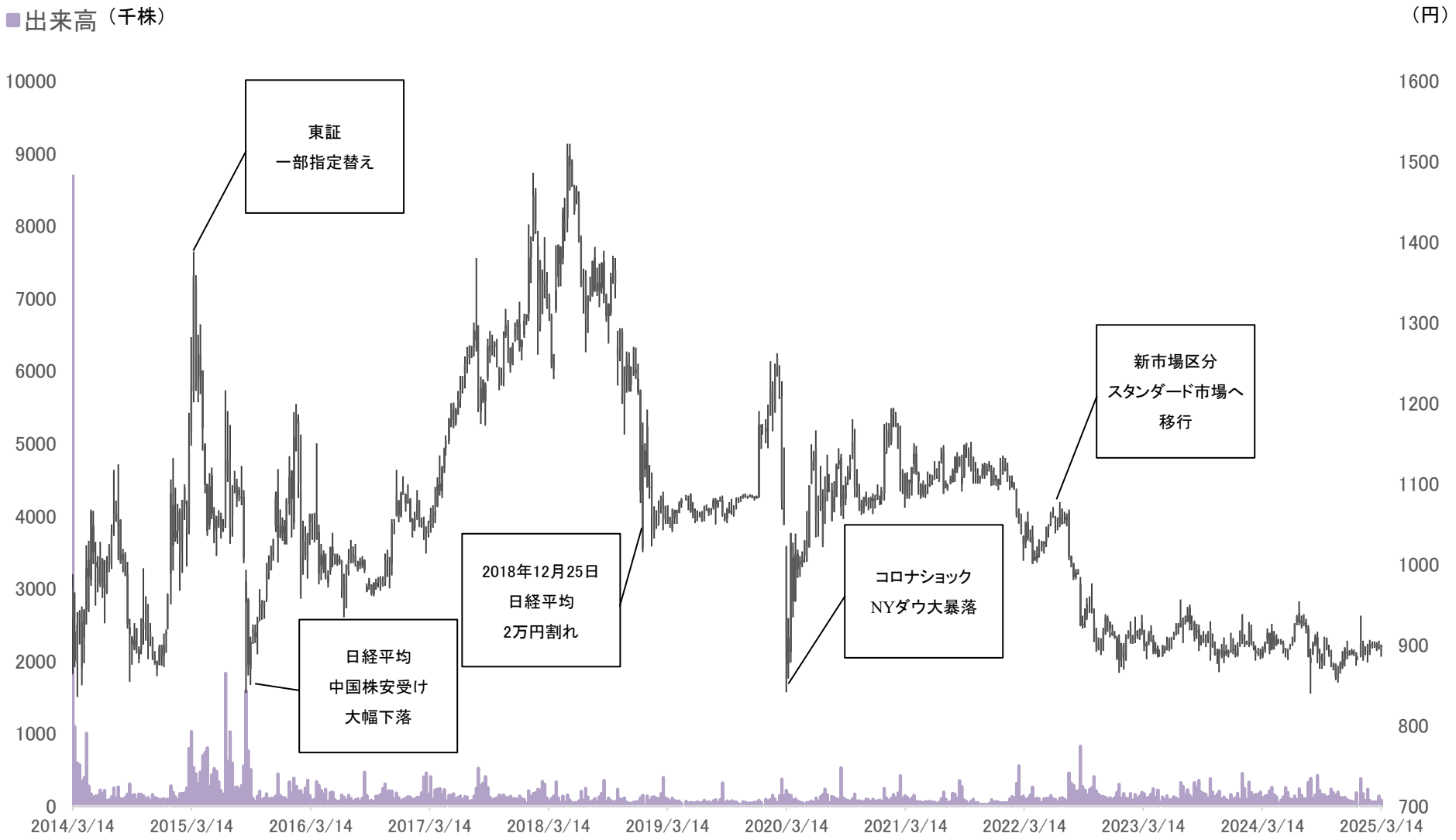
配当方針について

- 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- 年1回の期末配当を行うことを基本とします。



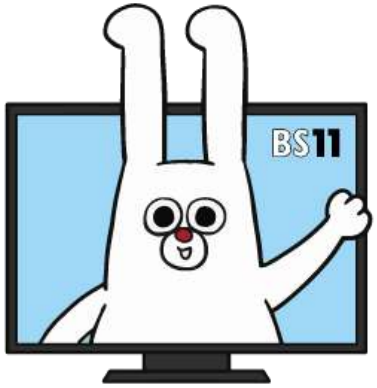
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

株価推移



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

（ご参考）会社概要



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

会社概要

BS11日本BS放送

2022年に開局15周年を迎えた、全国無料のBSテレビ局です。

会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”　チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長　齋藤 知久 代表取締役社長　近藤 和行
設立	1999年8月
資本金	41億9千万円 （2024年8月31日現在）
従業員数	132名（連結）（2024年8月31日現在）

沿革

1999年8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年　4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2014年3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年4月	東京証券取引所スタンダード市場へ移行

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

経営理念

BS11日本BS放送

＜経営理念＞

質の高い情報を提供することで
人々に感動を与え
幸せな社会づくりに貢献します。

＜経営ビジョン＞

豊かで　癒される　教養・娯楽番組と
中立公正な　報道・情報番組を発信し
『価値ある時間』　を約束します。

＜行動指針＞

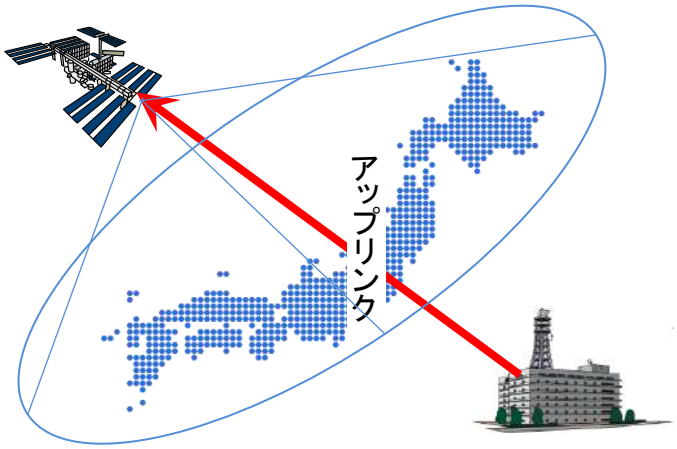
・公共的使命を認識し社会の信頼に応えます。
・良質なコンテンツの創造を追求します。
・常に新しい可能性に挑戦します。

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS放送事業について

BS11 日本BS放送

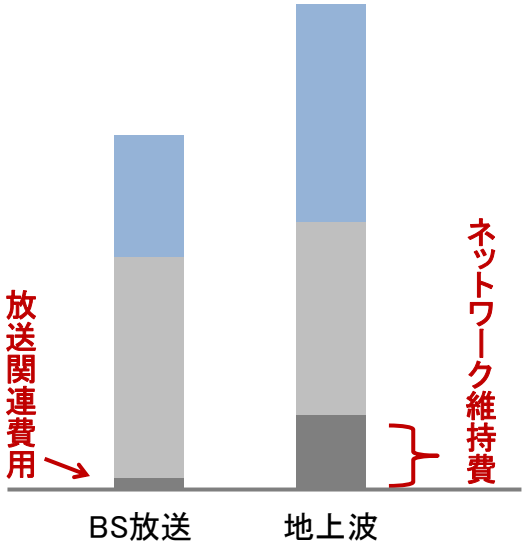
無料BS放送



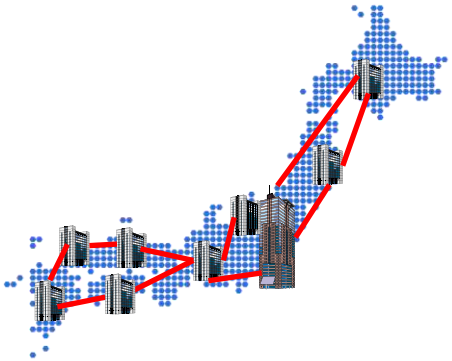
・日本全国に電波の送信が可能

・ネットワークの構築が不要

コスト構造の比較



キー局系列の地上波放送



・少数チャンネル地域の存在

・嵩むネットワーク維持費

全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	松竹・東急	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	BS松竹東急	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月		2022年3月		2011年11月

地上波系列と当社にて、“無料BS放送６局”として視聴状況調査を実施、
共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。

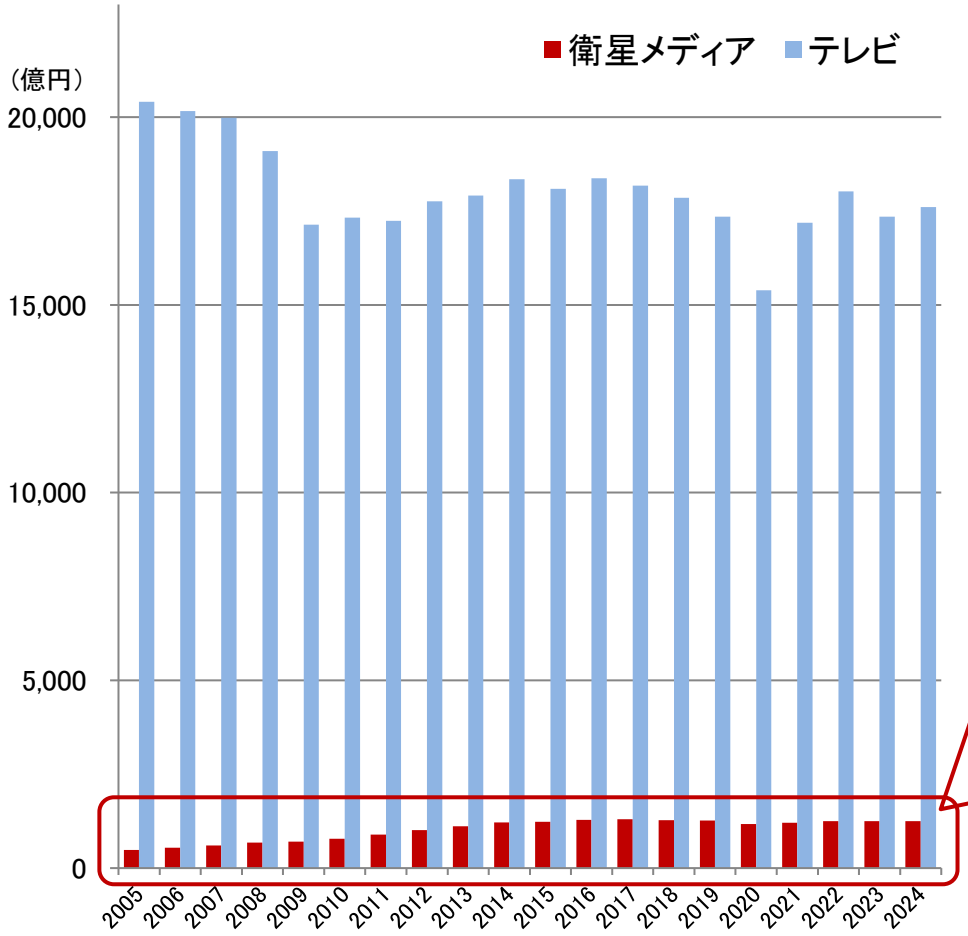
© Nippon BS Broadcasting Corporation.

当社を取り巻く事業環境

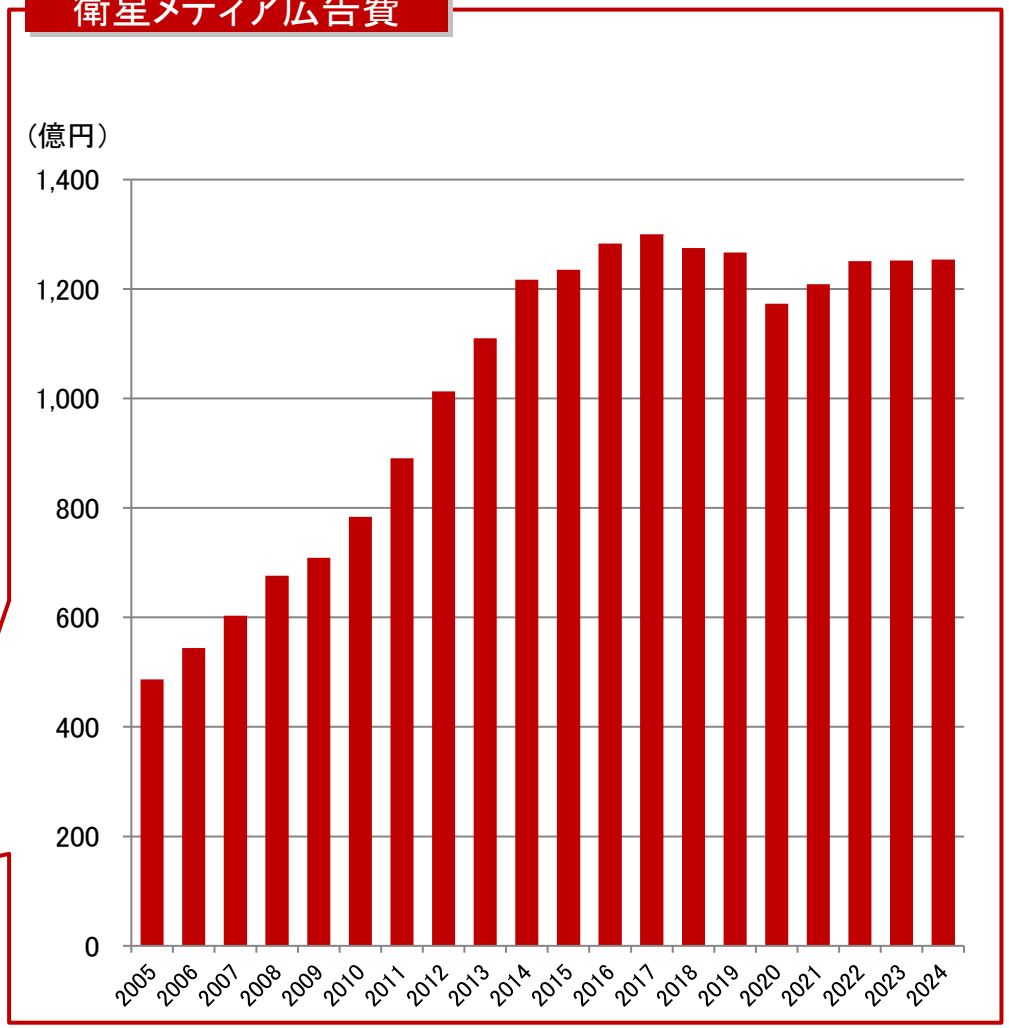
BS11 日本BS放送

2020年のコロナ禍を経て2021年以降は回復傾向

媒体別広告費



衛星メディア広告費



（出所）電通「202年　日本の広告費」 ※ 衛星メディアにはBS放送、CS放送、ケーブルテレビが含まれる

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

BS11の特長

①独立系だからこそ**自由なコンテンツ制作・展開**が可能！

②**『ドラマ』**・**『アニメ』**・**『競馬』**など
多岐にわたるラインナップ編成により、
幅広い年齢層の視聴者層が存在！

③家電量販店**ビックカメラを親会社に持つ**ため、
番組・ＣＭの放送等に加えて、
消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画
が可能！

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

タイムテーブル

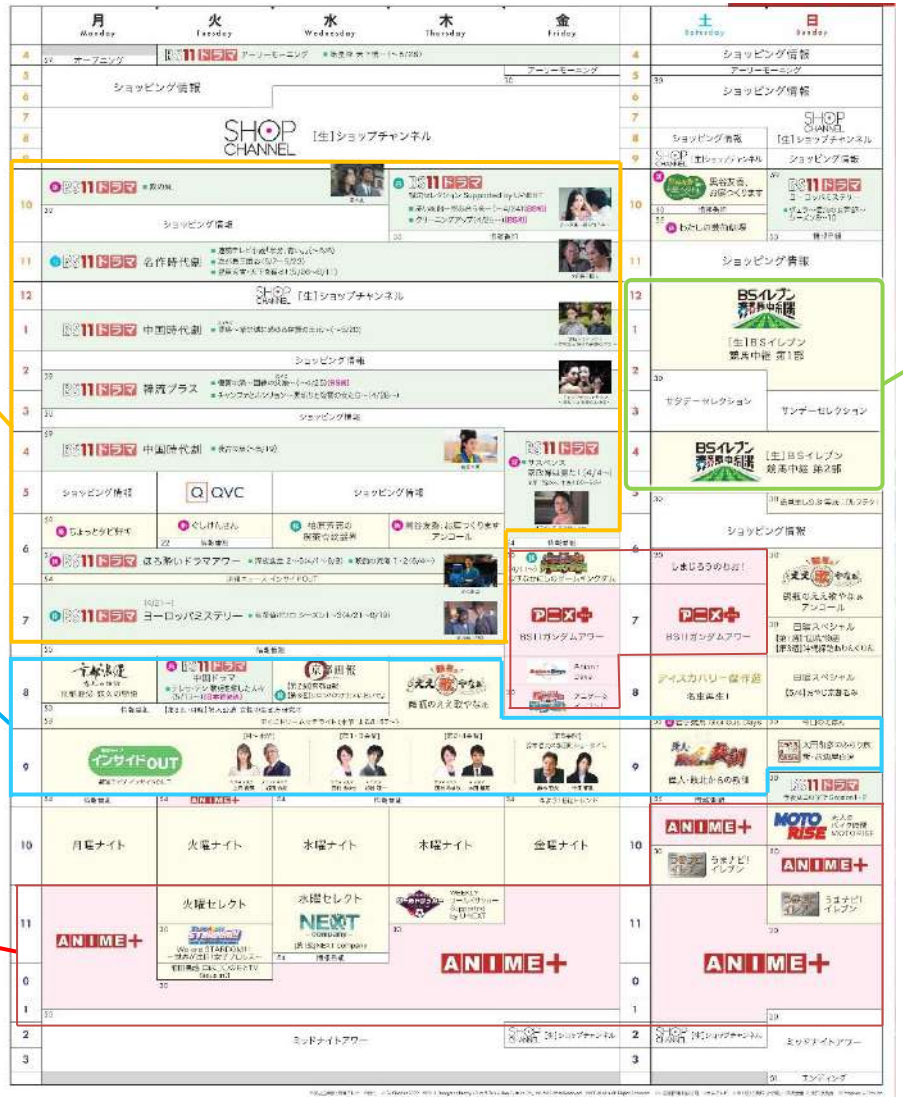
BS11日本BS放送

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢層の視聴者**が存在する

ドラマゾーン
F3
F4

自社制作ゾーン
M3
M4
F3
F4

アニメゾーン
TEEN
F1/2
M1/2
M3



（2025年4月クール編成表）

競馬ゾーン
M3
M4

ターゲット区分

	性別	年齢
TEEN	男・女	12-19歳
M1	男性	20-34歳
M2		35-49歳
M3		50-64歳
M4		65歳以上
F1	女性	20-34歳
F2		35-49歳
F3		50-64歳
F4		65歳以上

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

BS11日本BS放送

理論社・国土社との取組

グループ会社となっている（株）理論社・（株）国土社と協業し、
映像コンテンツを制作、放送や配信を積極的に実施。

株式会社理論社

1947年創業　　書籍・雑誌等の編集、制作、出版及び販売

理論社
since 1947

図書館員がえらぶ 選書センター大賞2024
大賞 総合第１位

株式会社国土社

1937年創業　　主に児童図書・教育図書の刊行

KOKUDOSHA

第70回青少年読書感想文全国コンクール
小学校高学年の部　課題図書

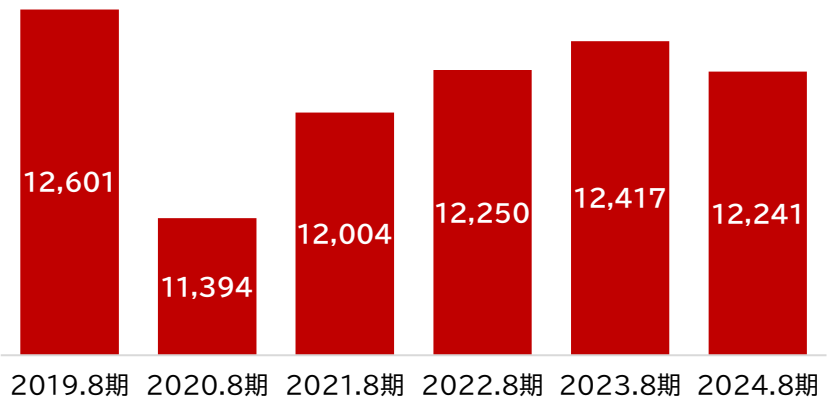
協業制作コンテンツ例

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

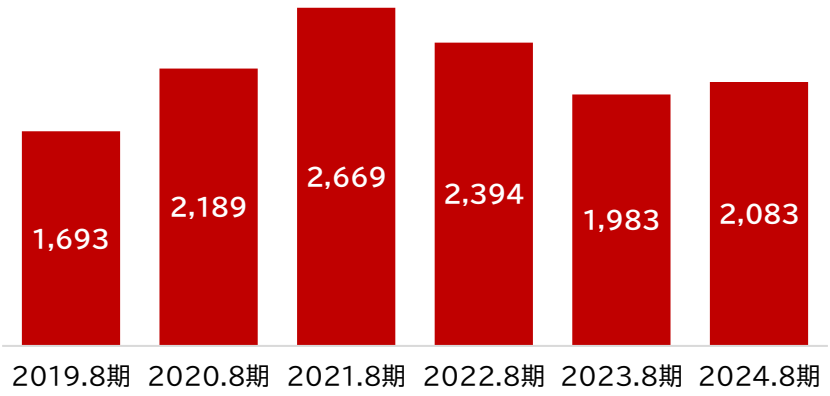
業績推移

BS11日本BS放送

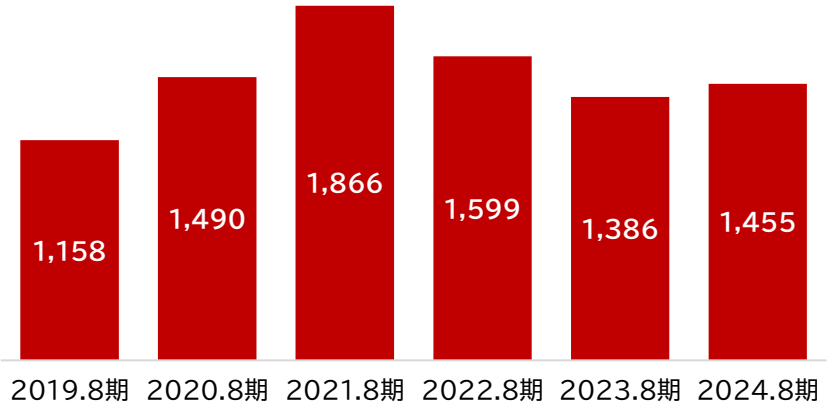
売上高(百万円)



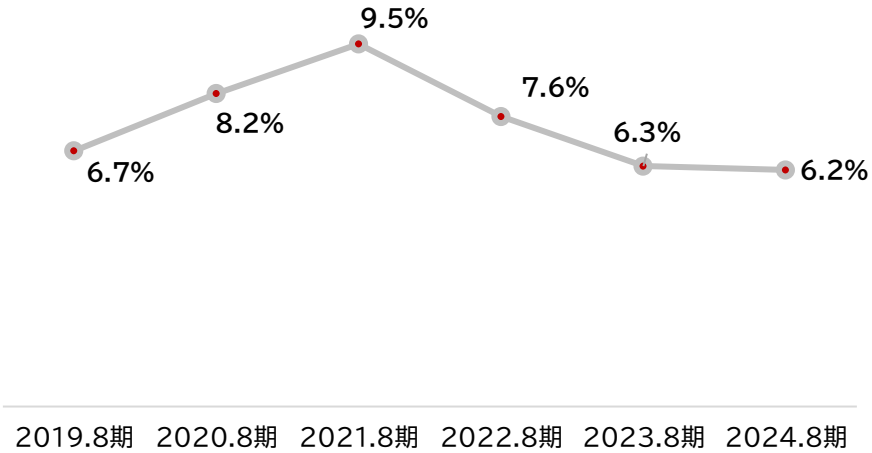
営業利益(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



ROE(%)



© Nippon BS Broadcasting Corporation.

人的資本に関する取り組み

BS11日本BS放送

人的投資を**「人材の多様性による独自性の創出」**を目的とした
成長投資として戦略的に位置付け

人財戦略を支える基本方針
「社内人材の育成と能力開発」「外部専門人材の活用」「女性活躍推進」

具体的な施策

① ダイバーシティの確保

中途採用者：80%以上

女性社員割合：32.7%

女性管理職割合：22.4%
※2024年8月末時点

↓

「コンテンツの多様性」を支える
「人材の多様性」を重視

② 人材育成

<重点方針>
**人材の力を高め、コンテンツ中心の
ビジネスを追求し続ける集団への進化**

「Go!Forward」戦略の3本柱

社員がチャレンジできる社内風土の強化

リーダー層のマネジメント力の強化

会社の将来を担う若手社員の成長加速

③ 社内環境整備

社員一人ひとりが持つ力を
引き出す労働環境

フレックスタイム制度

時短勤務制度

在宅勤務制度

© Nippon BS Broadcasting Corporation.

- 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。
その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

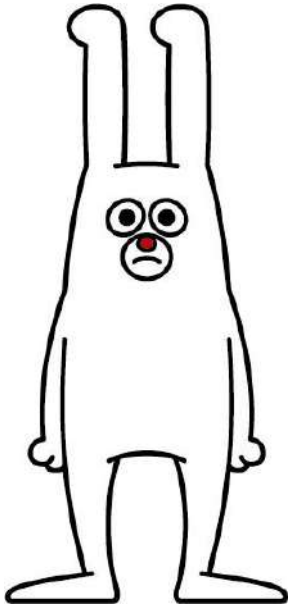
【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局　経営企画部

TEL　03-3518-1900

URL　https://www.bs11.jp/



© Nippon BS Broadcasting Corporation.